

プラスチック・ゴムパーツのクイックリペア

プラスチックパーツの亀裂や

小さな割損を補修し、ゴムパーツを
素早く、強力に接着します。

- ・バンパー、エアロパーツの亀裂補修
- ・ランプユニット、スピーカーの取り付け部の補修
- ・内装などゴムパーツの接着



瞬間接着剤

プラスチック、ゴム部品を瞬間に強力接着。金属部品の仮止めにも使用できます。

- 5g×5本



前処理剤

PP、PE、FRP、ウレタン、EPDMなどの接着面に塗ることにより、PRK CAでの接着が可能になります。

- 50ml、ハケ、スポイド、ポンプスプレー、カップ



硬化促進剤

PRK CAの硬化をさらに早めるためのスプレー。充填接着や盛り上げ接着も可能です。

- 100ml

【PRK シリーズ使用方法】

●使用方法

(例：ヘッドランプ取り付け部の補修・材質/PP)

①補修箇所の確認

割れ、裂けの状態を確認し、接合したい部分がかっちりとして確認します。完成状態に整形、組み付け方を確認して接着順序を決定します。図1



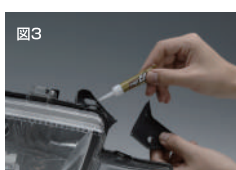
②清掃・脱脂

補修部分、接着部分をシリコンオフなどで清掃・脱脂してください。



③プライマーの塗付

接着箇所などPRK CAを塗付する箇所にPRK PRをハケ、スポイド、スプレーなどで塗付します。こすり付けるようにすると効果的です。図2



④接着剤の塗付

プライマー乾燥後、接着部分の片面にPRK CAを点状か線状に塗付します。図3

⑤接着・固定

接着面がずれないようにしっかりと20～30秒程保持してください。PRK ACをスプレーすることにより硬化を早めることができます。約30分で実用強度に達します。その間は、なるべく動かさないでください。図4



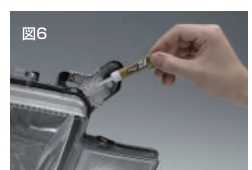
⑥ガラスクロステープの貼付け

市販のガラスクロステープを補修部分より少し大きめに切って、貼付けてください。強度が必要な場合はテープを重ねて使用してください。図5



⑦PRK CAを塗付

PRK CAを全体にしみ込ませるように塗付します。PRK ACを10cmくらいはなしてスプレーすることにより硬化を早めることができます。図6
※硬化時に発熱しますのでやけどに注意してください。



使用に際しては各商品に記載の使用方法、注意事項、応急処置、保管および廃棄方法を必ず読んでからご使用ください。

※ガラスクロステープでの補強は省くことが可能ですが、接着面積が小さい箇所や曲げなどの力のかかる箇所では外れる可能性があります。

※布などに接着剤が浸透するとかなり発熱します。その際、皮に接触するとやけどを起こすので、軍手などは着用しないでください。

株式会社 アルテコ

本社 〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町5-8 TEL.072-627-1617 FAX.072-627-1633
東京営業所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-6-12 TEL.03-3262-4929 FAX.03-3262-4932
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦1-18-11 TEL.052-211-1340 FAX.052-232-1518